



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 株式会社 ユニバンス

上場取引所 東

コード番号 7254 URL <https://www.uvc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 一和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 曾布川 守男

TEL 053-576-1311

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	12,274	—	1,102	—	1,128	—	1,024	—
2021年3月期第1四半期	6,803	△53.3	△1,578	—	△1,236	—	△1,231	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 931百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △720百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	49.17	—
2021年3月期第1四半期	△59.11	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	45,369	16,920	37.3
2021年3月期	44,345	16,019	36.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 16,920百万円 2021年3月期 16,019百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,500	—	1,700	—	1,700	—	1,400	—	67.21
通期	48,000	—	3,000	—	2,900	—	2,300	—	110.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	23,396,787 株	2021年3月期	23,396,787 株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,566,262 株	2021年3月期	2,566,182 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	20,830,585 株	2021年3月期1Q	20,830,605 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8
(関連情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、一部の売上について加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

そのため、当第1四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、売上高については前第1四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比(%)を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が一旦落ち着いたこともあり、前年同期に比べ大幅に回復し122億74百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の回復影響に加え、過年度より取り組んでいる事業構造の改善の効果もあり、営業利益は11億2百万円(前年同期は15億78百万円の損失)、経常利益は11億28百万円(前年同期は12億36百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億24百万円(前年同期は12億31百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<ユニット事業>

売上高は、新型コロナウイルス感染症による顧客カーメーカーの操業低下の影響を受けた前年同期に比べ北米市場を中心に大幅に回復し、79億76百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増加影響等により8億12百万円(前年同期は11億36百万円の損失)となりました。

<部品事業>

売上高は、ユニット事業と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期に比べ大幅に回復し、42億85百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増加影響に加え商品収益力の向上等により2億72百万円(前年同期は4億18百万円の損失)となりました。

<その他>

セグメント利益につきましては、16百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が減少しましたが、主に現金及び預金の増加により、前期末に比べ10億23百万円増加し、453億69百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金と借入金が増加しましたが、収益認識に関する会計基準等の適用に伴う有償支給に係る負債の計上により、前期末に比べ1億21百万円増加し、284億48百万円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加により、前期末に比べ9億1百万円増加し、169億20百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表しました2022年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年8月5日)公表の「2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,827,415	4,658,296
受取手形及び売掛金	10,202,979	8,796,449
製品	1,311,689	1,621,204
仕掛品	1,508,491	1,428,260
原材料及び貯蔵品	2,904,305	3,100,162
その他	1,948,706	2,610,196
貸倒引当金	△6,637	△6,154
流動資産合計	20,696,950	22,208,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,687,142	15,790,130
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,592,145	△10,702,723
建物及び構築物(純額)	5,094,997	5,087,407
機械装置及び運搬具	72,507,296	72,902,518
減価償却累計額及び減損損失累計額	△62,161,057	△63,017,925
機械装置及び運搬具(純額)	10,346,238	9,884,593
工具、器具及び備品	5,823,647	5,671,371
減価償却累計額	△5,173,444	△5,244,481
工具、器具及び備品(純額)	650,203	426,889
土地	2,372,075	2,366,140
リース資産	72,337	80,111
減価償却累計額	△45,309	△43,530
リース資産(純額)	27,028	36,581
建設仮勘定	373,047	509,145
有形固定資産合計	18,863,590	18,310,756
無形固定資産	837,816	818,232
投資その他の資産		
投資有価証券	3,598,936	3,704,002
繰延税金資産	191,230	194,590
その他	157,015	133,234
投資その他の資産合計	3,947,182	4,031,827
固定資産合計	23,648,589	23,160,816
資産合計	44,345,540	45,369,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,246,444	6,871,606
短期借入金	4,860,966	5,043,205
未払金	1,754,082	1,968,952
未払費用	927,522	939,410
リース債務	15,511	16,326
未払法人税等	243,930	399,869
賞与引当金	579,053	845,576
製品保証引当金	1,888,459	1,807,887
その他	248,159	602,662
流動負債合計	17,764,130	18,495,496
固定負債		
長期借入金	5,731,910	5,200,346
リース債務	10,684	20,965
繰延税金負債	1,194,071	1,090,125
役員退職慰労引当金	96,105	96,105
資産除去債務	180,470	180,551
退職給付に係る負債	3,347,503	3,363,317
その他	1,425	1,332
固定負債合計	10,562,171	9,952,744
負債合計	28,326,301	28,448,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	2,172,602	2,172,602
利益剰余金	9,003,961	10,024,881
自己株式	△692,385	△692,410
株主資本合計	13,984,178	15,005,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,574,937	1,648,002
為替換算調整勘定	365,349	174,344
退職給付に係る調整累計額	94,773	93,569
その他の包括利益累計額合計	2,035,060	1,915,916
純資産合計	16,019,238	16,920,989
負債純資産合計	44,345,540	45,369,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,803,074	12,274,161
売上原価	7,192,400	9,864,619
売上総利益又は売上総損失(△)	△389,326	2,409,541
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	83,372	253,450
人件費	627,121	613,260
減価償却費	66,853	61,085
賞与引当金繰入額	57,863	65,325
退職給付費用	19,714	15,136
その他	334,425	298,655
販売費及び一般管理費合計	1,189,351	1,306,913
営業利益又は営業損失(△)	△1,578,678	1,102,627
営業外収益		
受取利息	1,938	545
受取配当金	23,119	28,067
受取賃貸料	3,884	2,415
為替差益	209,349	—
受取補償金	5,183	108,923
雇用調整助成金	166,594	676
その他	14,691	31,345
営業外収益合計	424,760	171,974
営業外費用		
支払利息	59,264	28,484
外国源泉税	21,020	33,055
為替差損	—	81,407
その他	2,390	3,594
営業外費用合計	82,674	146,542
経常利益又は経常損失(△)	△1,236,592	1,128,059
特別利益		
固定資産売却益	12,115	18,065
特別利益合計	12,115	18,065
特別損失		
固定資産除却損	0	3,449
特別損失合計	0	3,449
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,224,477	1,142,675
法人税等合計	6,828	118,407
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,231,305	1,024,268
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,231,305	1,024,268

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,231,305	1,024,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189,639	73,064
為替換算調整勘定	312,045	△164,544
退職給付に係る調整額	9,306	△1,204
その他の包括利益合計	510,991	△92,683
四半期包括利益	△720,314	931,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△720,314	931,585
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であるユニバンスINC.については、連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行ってまいりましたが、より適切な経営情報の把握及び連結財務情報の開示を行うため、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日において仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、ユニバンスINC.については、当第1四半期連結累計期間は、2021年4月1日から2021年6月30日までの3ヶ月間を連結しており、当該連結子会社の2021年1月1日から2021年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は船積基準により収益を認識しておりました輸出取引の一部について、着荷時もしくは検取時に収益を認識する方法に変更しております。また、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第94項に定める代替的な取り扱いを適用し、顧客が当該製品に対する支配を獲得した後に行う出荷及び配送活動については、製品を移転する約束を履行するための活動として処理し、履行義務として識別しておりません。なお、同適用指針第98項に定める代替的な取り扱いを適用し、国内販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転されるまでの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

加えて、買戻し契約に該当する有償支給取引について、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給に係る負債」を認識し、流動負債「その他」に含めております。有償受給取引については、従来は有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,026,330千円減少し、売上原価は1,038,865千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12,534千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は12,826千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ユニット 事業	部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,038,555	3,755,883	6,794,439	8,634	6,803,074	—	6,803,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	79,613	79,613	△79,613	—
計	3,038,555	3,755,883	6,794,439	88,248	6,882,687	△79,613	6,803,074
セグメント損失(△)	△1,136,406	△418,350	△1,554,757	△10,337	△1,565,094	△13,583	△1,578,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ユニット 事業	部品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,976,979	4,285,529	12,262,509	11,651	12,274,161		12,274,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	112,427	112,427	△112,427	—
計	7,976,979	4,285,529	12,262,509	124,078	12,386,588	△112,427	12,274,161
セグメント利益	812,302	272,766	1,085,069	16,469	1,101,538	1,089	1,102,627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「ユニット事業」の売上高は42,875千円減少、セグメント利益は12,534千円増加し、「部品事業」の売上高は983,455千円減少しております。

(関連情報)

所在地別情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

(単位:千円)

	日本	北米	アジア	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	3,988,998	1,876,605	937,470	6,803,074	—	6,803,074
内部売上高	619,366	17,555	225,463	862,384	△862,384	—
計	4,608,364	1,894,160	1,162,934	7,665,458	△862,384	6,803,074
営業損失(△)	△1,315,972	△87,470	△296,159	△1,699,602	120,924	△1,578,678

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域。

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………インドネシア、タイ

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

(単位:千円)

	日本	北米	アジア	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	6,060,966	1,213,388	4,999,805	12,274,161	—	12,274,161
内部売上高	2,357,706	14,042	925,916	3,297,665	△3,297,665	—
計	8,418,672	1,227,431	5,925,722	15,571,826	△3,297,665	12,274,161
営業利益又は営業損失(△)	626,432	△21,259	518,188	1,123,362	△20,734	1,102,627

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域。

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………インドネシア、タイ